



開校96周年

# 学校便り

教育目標： ちょうせんする子 心ゆたかな子 きたえる子

令和7年12月25日

No.11 冬休み直前号

江東区立第三砂町小学校

校長 浅野 努



## 皿を割った一年でした

校長 浅野 努

毎年12月10日の「人権デー」に合わせ、12月4日～10日は「人権週間」となっています。本校では9日(火)と12日(金)の二日間にわたり、東京都教育委員会が定める人権課題のうち、「こども」(1,2年生)、「外国人」(3年生)、「アイヌの人々」(4年生)、「性自認、性的指向」(5年生)、「北朝鮮による拉致問題」(6年生)を取り上げ、授業を公開しました。平日開催のため参観された保護者の方は多くありませんでしたが、授業をした教員からは「やってみてよかった」「あらためて人権について考えることができた」と手応えを感じている前向きな声が聞こえました。初めての取組なので、正直うまくいかないこと、予定どおり進まないこともありましたが、やってみたからこそ見えた景色もあるのだな、と何事にも挑戦する大切さを感じました。

**皿を割れ——。(たくさん皿を洗う人は、皿を割っていい…挑戦する大切さを説いた梶島前熊本県知事の言葉)**

人権課題の授業公開と同じくらい“皿を割る”覚悟で臨んだ取組が、音楽会と展覧会を融合させた初開催の芸術祭です。保護者の皆様からも「来年の開催が楽しみです」「感動しました」など励みとなる御感想をたくさんお寄せいただきました。詳しくは下記の音楽専科、図工専科の両主幹教諭の思いと、裏面の取組報告書をぜひお読みください。



何はともあれ、大きな事故なく冬休みを迎えられそうなのも、PTA 本部役員の皆様をはじめとする保護者の皆様、地域の皆様など、日頃から三砂っ子の成長を温かく見守ってくださっている全ての皆様のおかげです。心から感謝申し上げます。

それでは皆様、よいお年を——。そして、創立97年目を迎える来年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 芸術祭を振り返って

<担当：音楽専科

>

第1回芸術祭、いかがでしたか？今年度から芸術祭を始めるにあたり、こどもたちも教員も最初はイメージをあまり鮮明にもつことができなかったところもありましたが、3～6年生によるプロジェクトチームを結成し、第1回芸術祭を盛り上げ、楽しめるものにしようと「指揮者による歌唱指導」や「シークレットコンサート」など企画してきました。特に、三砂小だけのオリジナル曲『三砂っ子の芸術祭』をこどもたちと一緒につくったことは、歴史に刻む芸術祭の第1回として大きかったです。

また、インフルエンザの流行でなかなか思うように練習ができない時もありましたが、芸術祭当日はそんなことを全く感じさせない歌や演奏、ダンスで一人一人が学習・練習の成果を出し切りっていました。こどもたちが、かがやいている姿を多くの保護者の皆様にも見ていただけたことと思います。ありがとうございます。

今回の第1回芸術祭の記念として『三砂っ子の芸術祭』や『校歌』『サンスナオンの絵描き歌』を収録したCDを2月に配付する予定です。ぜひ、ご家庭でも芸術祭の余韻をお楽しみください。

<担当：図工専科

>

「笑顔と学びの体験活動プロジェクト 子供企画型」の一環としてお呼びした空間造形アーティスト山田龍太さんの指導の下、制作した巨大絵本(共同制作)が入口から1階多目的ルームにかけて並ぶ中、華やかに開催することができました。

11月27日(木)の児童鑑賞日には、1年生と2年生、3年生と4年生、5年生と6年生のペア学年で自身の作品のよさや、頑張ったところを原稿なしで相手に伝える取組(Speak Up! プログラム)を行いました。3階教室前の平面作品と3階多目的ルームの立体作品、保幼小中連携でお借りした保育園や中学校の作品を、こどもたちは興味津々に鑑賞していました。保護者の皆様には、作品を通して三砂っ子の学習の成果をご覧いただくことができました。ありがとうございました。

# 第三砂町小学校

## 「みんな、かがやく！」 第1回芸術祭を成功させようプロジェクト

～「笑顔と学びの体験活動プロジェクト 子供企画型」を活用して～

### 取組内容



今年度から「展覧会」と「音楽会」を癒合せせた「芸術祭」を行うにあたり、東京都教育委員会「笑顔と学びの体験活動プロジェクト 子供企画型」を活用し、児童主体の企画を取り入れることを通して、第1回芸術祭をみんなできつくりあげ、成功できるように内容の充実を図った。

#### ★全校合唱で歌う曲の制作

➡児童から募集した歌詞にキーボードをもとに、作曲家の先生に依頼し、「三砂っ子の芸術祭」という曲を作ってもらう。

#### ★プロの演奏家によるシートコンサート企画

➡第1回芸術祭を盛り上げるために、児童による芸術祭プロジェクトチームが考えた内容を演奏プログラムに入れてもらう。

#### ★空間造形アーティストによる共同制作の出前授業

➡1・3・5年生の各学年の共同制作として、段ボールを使用した巨大絵本と一緒に描いてもらう。

#### ★プロの指揮者による歌唱指導

➡全校に「三砂っ子の芸術祭」の歌唱を指導してもらい、さらに2・4・6年生に各学年が歌う曲の指導もしてもらう。

#### ★記念ノベルティCDの制作

➡「三砂っ子の芸術祭」や「校歌」等を録音し、CDを制作してもらう。

### 取組のPOINT



- ☑ 3～6年生の児童による芸術祭プロジェクトチームを発足
- ☑ 各学年の見所を紹介する「芸術祭集会」の開催
- ☑ 東京都教育委員会「笑顔と学びの体験活動プロジェクト 子供企画型」の活用
- ☑ 作品鑑賞をペア学年でSpeak Up!
- ☑ 教員も全力で楽しむ(職員の作品展示&演奏)
- ☑ 近隣保育園・中学校の作品の展示、近隣保育園の鑑賞



### 取組の様子



「一緒に歌ったり、演奏したりしたい」というお願いを叶えてくれて嬉しかったです。みんなに内緒にするのは大変だったけど、全校が楽しんでくれて良かったです。  
(芸術祭プロジェクトメンバー)



指揮者の先生に、2年生でも6年生の声で歌うことができるとを教えてくださいました。(2年生)

自分が工夫したところや友達の仕事の感想を伝えることを通して、対話を大切にしながら作品を鑑賞しました。



共同制作の巨大絵本を1階多目的ルームに展示し、学校全体で芸術祭を盛り上げました。



Speak Up!